

◆中面記載の通常講座に加えて、「特別集中講座」も予定しています。行き先は、神奈川県です（令和5年度より、東京湾を中心に時計周りに関東地方を巡る宿泊巡検を実施しています。令和6年度は、その第2回目）。日程他詳細は、令和6年度講座開講後、別途ご案内します。
担当講師 未定

【講義回数・時間】 30分×3回・通常の講義終了後4時10分から5時40分まで（予定）
【受講料】 1,500円（予定）

受講手続きの流れ

1. FAX※1、封筒郵送※1、はがき、メール、Webで、次の内容をお知らせください。

※1 別途の受講申込書をご利用ください。

- ①受講希望講座 ○○○○○
（2講座申込希望の方は、2つの講座名を明記ください）
②氏名（ふりがな） ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号
⑥メールアドレス（休講などのお知らせに使用します）
・FAX送信先：03-3715-3099
・郵送先：〒153-8573 目黒区役所生涯学習課内<住所不要>
・メール送信先：megurocc1995@gmail.com
・めぐろシティカレッジホームページ（右コード）から申込み可

めぐろシティカレッジ Wix 検索



2. 手続きの流れは次の通りです。

※2「目黒学」「江戸東京」のみ3月下旬

	応募締切	受講確定 振込案内送付	受講料振込締切	受講証送付
日程	3月1日	3月上旬	3月15日	4月上旬※2

3. 講座当日は、受講証（聴講生適応の回は聴講生証）をご持参の上、会場へお越しください。

※原則として入金後の講座の変更・キャンセルはできません。

やむを得ない事情が生じた場合は、1回目の講義の前までに事務局にご相談ください。

受講に際して

- やむを得ない事情により、日程や講師等を変更したり、講義の短縮や中止の場合もあります。予めご承知おきください。
- 現地実習については、荒天等により実現できなかった場合、天候や講師の都合により平日に実施する場合もあります。日程変更により欠席された場合でも返金できません。予めご承知おきください。
- 講師や他の受講生に迷惑をかけたり、講座運営に支障をきたす行為があった場合、受講をお断りすることがあります。
- 受講を修了した方が研究会を作る場合には、事務局へご相談ください。
- 主な会場は目黒区立中央町社会教育館（中央町さくらプラザ）ですが、講義によっては現地実習があります。現地実習の集合場所や時間等は別途ご案内します。

Q&A

- Q1 講座を2つ申込みことはできますか？
A1 できます。日程が重なっていない講座と組み合わせでお申込みください。
- Q2 聴講生として選択する講義3つは、同一講義内に限られますか？
A2 日程が重ならない2つの講座から自由に選択ください。
- Q3 8月を挟んで異なる講座を申し込んでも良いですか？
A3 お申込みは、「通年」でお願いします。
- Q4 抽選で落選した場合はどうなりますか？
A4 応募状況により、定員に余裕のある他の講座等をご案内させていただきます。

MAP



お問合せ

めぐろシティカレッジ振興会事務局
TEL: 03-5722-9316
(月～金曜日 10:00～17:00)
目黒区上目黒 2-19-15
目黒区教育委員会事務局 生涯学習課内

MEGURO
シティカレッジ

第30回（令和6年度）受講生募集

めぐろシティカレッジ 受講案内・募集要項

応募締切: 令和6年3月1日（金）※消印有効

●「めぐろシティカレッジ」の紹介

平成7年10月開講

めぐろシティカレッジは、東京都立大学が八王子市に移転するに際し、「お世話になった目黒区に何かお役に立つことがあれば協力したい」という、東京都立大学の総長山住正己先生（当時）をはじめ、大学関係者および、東京都立大学附属高等学校の皆様の熱い思いを受け、目黒区、東京都立大学、同大附属高等学校、東京都教育庁の4者が協力して、目黒区民の生涯学習に貢献し、生活・文化に寄与することを目的として開始した生涯学習講座です。

現在、任意団体「めぐろシティカレッジ振興会」が運営を行っております。

令和6年度の会場につきましては、前年度に引き続き目黒区立中央町社会教育館（中央町さくらプラザ 目黒区中央町2-4-18）で実施します。

●学習の目標

「めぐろシティカレッジ」では、設立の趣旨に基づき、次の3点を学習の目標に掲げています。

- わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で誰からも強いられることなく、自らの意思と方法で勉強して自己実現をはかります。
- わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で蓄積された知的資産を「明るい豊かな人間のまちづくり」に生かします。
- わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」での学習や研究、「まちづくり」を通じて育まれた温かい人間関係をより豊かにするとともに、新しい価値観と生きがいを求め行動します。

基本的な感染対策に関わるご理解のお願い

- ☑ 発熱又は風邪のような症状がある方、ご家族に発熱症状のある方、少しでも感染の恐れがある場合は、講座への出席をお控えください。
- ☑ 入室前の手指消毒、咳エチケットなどにご協力をお願いします。
- ☑ 状況により、掲載されている講座や講座会場などが変更される場合があります。
- ☑ 休講などのお知らせに使うため、メールアドレスをお知らせください。

開講式

令和6年4月13日（土）11時より（於：目黒区総合庁舎内2階大会議室）
（当日初回講義のある方は、午後14時より、中央町社会教育館に移動して受講ください。）

講座案内

令和6年度は、「通年制」となります。

各講座とも全14回／1講座につき受講料20,000円／定員50名

※現地実習のある講座について

- ①イヤホン・ガイド使用料として年間 1,500円のご負担をお願いいたします（お振込みの通知送付時に、各申込者に振込金額をお知らせします。）
- ②その他に、見学先により、別途入館料など実費が必要な場合があります。

聴講生制度について

「通年制」講義の受講申込者に限り、同年度に開講する講義の中で、別の講義を3回希望することのできる聴講生制度を導入します（ただし定員に空きがある場合）。聴講生としての受講料は、3回で5,100円です。詳細は、3月1日の受講申し込み締切後、受講決定者にお知らせ予定です。

全4講座(通年制)

令和6年4月～令和7年1月 (講義時間 午後2時～4時)

1. 目黒学パート30「川と橋をめぐる」 *イヤホン使用講座有り コーディネーター:山崎 憲治
4/13 身近にある橋の歴史を知る 山崎 憲治 元岩手大学教授
4/27 橋から歴史を知る 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
5/11 「神田川」(南こうせつとかぐや姫)にみる時代 吉田 悦志 明治大学名誉教授
5/25 神田川・神田上水の歴史を紐解く 吉田 悦志 明治大学名誉教授
6/8 一本のつり橋で学校に行けるようになる 垣見 一雅 在ネパール支援活動家 OK Baji
6/22 「アメリカ橋」をご存知ですか？ —「浮世絵・名所図会・地図等」より、橋の物語をお話します 荻原 延元 川村学園女子大学名誉教授、故奥村土牛門
7/13 橋梁工学の実際 五十畑 弘 道路文化研究所特別顧問/元日本大学教授
9/28 川崎の二ヶ領用水巡検 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
10/12 中村哲氏のアフガンの堰 石橋 忠明 ペシャワール会 PMS水路ワーカー
10/26 21世紀の水問題 伊藤 達也 法政大学文学部地理学科教授
11/9 浮世絵に描かれた江戸の橋 柘植 信行 品川歴史館専門委員
11/23 A案 勝どき橋 / B案 浅草～浜離宮 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
12/14 橋と水害 山崎 憲治 元岩手大学教授
1/25 橋が持つ象徴性 五十畑 弘 道路文化研究所特別顧問/元日本大学教授

2. いま、地球で何が起きているのか コーディネーター:堀 信行
4/13 いま、地球で何が起きているのか:展望 堀 信行 東京都立大学名誉教授
4/27 国土強靱化のツケが招く災害を考える 矢野 智徳 社の財団 代表理事
5/11 人倫から倫理へ、そしてまた人倫へ？—民主主義の危機・戦争の不安・生きることへの絶望>克服できるか— 福吉 勝男 名古屋市立大学名誉教授
5/25 海面上昇による水没がみられるサンゴ礁の島と人々: ツバルからの報告 生井 貞行 元桜美林大学講師
6/8 融解する氷河と地球の水収支 堀 信行 東京都立大学名誉教授
6/22 地球温暖化の中で大規模化する森林火災 堀 信行 東京都立大学名誉教授
7/13 地球温暖化の「いま」: 変わりつつある身の回りの気象状況 南 利幸 気象予報士
9/28 学校教育、そして学問への憂いと希望: 一塾教師の視座 青木 宏之 「学ゆう」代表
10/12 地球史からみる現在の地球 斎藤 靖二 公益社団法人 東京地学協会 会長
10/26 地球規模の経済格差: 国際援助組織 Oxfam の提言より 越田 年彦 元慶応義塾大学訪問教授
11/9 聖なるものの喪失と再生 小迫 俊一 こおろ社(出版)代表
11/23 地球規模で変容する都市のスマート化と情報技術 瀬戸 寿一 駒澤大学准教授
12/14 揺らぎ漂流する現代社会を捉え直し、未来を見据えてみる 金山 秋男 明治大学名誉教授
1/25 政治化する地球の水資源 堀 信行 東京都立大学名誉教授

3. 江戸時代の思想と現代 (通称【思想】) コーディネーター:森 慎一郎
4/20 江戸時代の宗教政策 その1 仏教 檀家制度 中臺 希実 明治大学情報コミュニケーション学部兼任講師
5/18 江戸時代の宗教政策 その2 キリスト教 弾圧 中臺 希実 明治大学情報コミュニケーション学部兼任講師
6/1 政治改革と思想 その1 正徳の治と新井白石 須田 努 明治大学情報コミュニケーション学部教授
6/15 政治改革と思想 その2 天保の改革と蛮社の獄 児玉 憲治 早稲田大学非常勤講師
6/29 幕府の学問 朱子学・藤原惺窩、林羅山 石井 七海 学校法人立教学院 立教学院展示館
7/6 民衆のための学問 石田梅岩・心学 児玉 憲治 早稲田大学非常勤講師
7/20 朱子学からの発展 伊藤仁斎、荻生徂徠 石井 七海 学校法人立教学院 立教学院展示館 学芸員
10/5 私塾の発展 その1 シーボルトの西洋医学と鳴瀧塾 萱田 寛也 徳川林政史研究所非常勤研究員
10/19 古代日本への回帰 国学・賀茂真淵、本居宣長 古畑 侑亮 親鸞仏教センター嘱託研究員
11/2 水戸学と尊王攘夷 後期水戸学を中心に 増子 和男 茨城大学名誉教授
11/16 国学からの発展 復古神道・平田篤 古畑 侑亮 親鸞仏教センター嘱託研究員
11/30 私塾の発展 その2 緒方洪庵の蘭学と適塾 須田 努 明治大学情報コミュニケーション学部教授
12/7 異端の学問? 自然真営道と安藤昌益 堀 信行 東京都立大学名誉教授
1/18 私塾の発展 その3 吉田松陰と松下村塾 鎌田 出 至誠館大学現代社会学部教授

4. 見て回る 江戸・東京 (通称【東京】) *イヤホン使用講座有り コーディネーター:佐藤 洋、生井 貞行
4/6 江戸・東京を武蔵野と下町それを結ぶ山の手から探ってみる 山崎 憲治 元岩手大学教授
5/18 入門、目黒不動 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
6/1 目黒不動(行人坂・太鼓橋・五百羅漢寺・目黒不動・競馬場)を歩く 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
6/15 忠臣蔵 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
6/29 忠臣蔵に関する界限 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
7/6 古典に現れる隅田川とは何か? 森 慎一郎 東洋文化研究家
7/20 江戸「東京の水害史」 山崎 憲治 元岩手大学教授
10/5 荒川放水路の建設、岩淵水門 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
10/19 東京の戦跡～平和教育を踏まえつつ 越田 年彦 元慶応義塾大学訪問教授
11/2 調布飛行場周辺を訪ねて～戦跡と近藤勇 現地実習 越田 年彦 元慶応義塾大学訪問教授
11/16 武蔵野台地の水～まいまいず井戸の位置と構造 堀 信行 東京都立大学名誉教授
11/30 武蔵野台地の水～まいまいず井戸を訪ねて 現地実習 堀 信行 東京都立大学名誉教授
12/7 江戸の水、玉川上水、1964年までの東京のメイン上水路 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
1/18 玉川上水をおるく 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭